

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	小中一貫教育研究事業(教育研究所経費)				所管課	教育総務課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	学校	目的	時代の要請や社会の動向を踏まえ、教育の改善やその振興及び充実を図る。			
事業概要	教育に関する専門的・技術的事項の研究（英語教育の推進、小中一貫教育の研究等）及び教育研修を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	02	大事業 0002 教育研究所経費（小中一貫教育推進事業）
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	344		363		
	概算人件費	4,460		4,460		
	トータルコスト	4,804		4,823		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.53 人		2,948 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	1 人		1,512 千円		
	合計			4,460 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合【戦略】（%）	75.6	75.6	76.1	76.6	77.0
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 教育内容の向上	4.11	2.88	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	・各種研修や小中合同のカリキュラム研究により、教員の授業力や小中連携への意識は着実に向上している。 ・小中一貫教育については、メリットとデメリットを整理し、町民に分かりやすく示す必要がある。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	児童・生徒安全対策事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●			●	●
事業対象	学校・地域	目的	地域との連携を強化することで、児童・生徒の日常的な防災意識の高揚と災害時の安全確保を図る。			
事業概要	児童・生徒の安全対策について、地域住民や保護者等の要望・意見を集約し、関係団体との連携により、実効性ある行動計画を企画・立案する。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	02	大事業 0004 児童・生徒安全対策事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	2,152	2,147			
	概算人件費	859	859			
	トータルコスト	3,011	3,006		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.17 人		859 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			859 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 通学路点検対応箇所数（合同点検実施箇所＋合同点検未実施のうち対策済みの箇所数）（箇所）	5	15	15	15	15
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 教育内容の向上	4.11	2.88
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等  
 ・登下校時の危険箇所の情報が関係者間で共有されるとともに、対応策を講じることができている。  
 ・交通安全に重点が置かれており、防犯面の議論も活性化させる必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	教育振興経費			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●			●	●	
事業対象	学校	目的	児童生徒が健康で安全な学校生活が送れるように努める。			
事業概要	心臓病判定委員会、健康診断日程調整会議等、児童生徒の健康管理に関する事務及び、水泳教室送迎バス借上、事業の実施。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0002 教育振興経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	3,181		5,822		
	概算人件費	1,822		1,822		
	トータルコスト	5,003		7,644		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.35 人		1,822 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			1,822 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 教育内容の向上	4.11	2.88
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等  
学校保健事業や水泳授業が着実にすすめられた。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	学校図書館推進事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	学校	目的	図書館環境を整えることで、児童生徒の創意あふれた学習活動の充実を図る。			
事業概要	学校図書館に司書を派遣し、学校図書館の読書環境の整備とレファレンスへの対応、広報活動による図書館の活性化を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0006 学校図書館推進事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	899	1,516			
	概算人件費	3,197	3,197			
	トータルコスト	4,096	4,713		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.06 人		300 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	4 人		2,897 千円		
	合計			3,197 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 貸出冊数（冊）	21,600	26,000	21,600	21,600	21,600
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 教育内容の向上	4.11	2.88
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等  
 ・読書活動や調べもの学習等で有効に活用されている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	英語教育推進事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	学校	目的	国際化が日常化する中で、学習を通じ、小中学生の日本や外国の文化等への理解を深めるとともに、英語による実践的なコミュニケーション能力を高める。			
事業概要	各学校へのALTの配置及び英語教材の整備を行うとともに、英語検定受験の奨励を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0009 英語教育推進事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	8,325	8,898			
	概算人件費	888	888			
	トータルコスト	9,213	9,786		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.16 人		888 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			888 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 中学校卒業時における英検3級の取得率【戦略】（%）	45.8	コロナの為不明	50.0	50.0	50.0
② 全国学力学習状況調査全国平均との差（点）	± 0	+ 4	調査実施せず	調査実施せず	+ 5

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等  
 ・小学校高学年における英語の教科化や小中一貫教育に向けた研究の結果、教員の授業力や児童生徒の英語の学力は着実に向上している。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	学校間ネットワーク推進事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	学校	目的	「e-japan重点計画」、「学習指導要領」、「学校教育の情報化推進計画」に基づき、ICT環境を充実させ、事務の効率化及び学校の安全管理を図る。			
事業概要	学校間ネットワーク及び公務支援システムの整備を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0010 学校間ネットワーク推進事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	10,818	9,348			
	概算人件費	609	609			
	トータルコスト	11,427	9,957		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員		0.12 人		609 千円	
	再任用職員		0 人		0 千円	
	会計年度任用職員		0 人		0 千円	
	その他		0 人		0 千円	
	合計				609 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 教職員の時間外勤務の平均値（グループウェアタイムカード機能による積算値）（h/月）	39.2	39.2	36	33	30

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 教育内容の向上	4.11	2.88	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	・教育委員会と学校間をイントラネットで繋ぐことにより、迅速できめ細かな情報提供が可能となり、業務効率が向上している。また、防犯カメラの設置により、児童生徒の安全性が向上している。 ・校務支援システムの令和2年度からの本格稼働を受け、操作スキル等の平準化により実効性をより向上させていくことが必要である。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			



基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	ICT教育推進事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	学校	目的	ICT環境整備を推進することで、効率的かつ質の高い授業展開を図る。			
事業概要	新学習指導要領に対応した、教育用コンピューター等のICT環境を整備する。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0014 ICT教育推進事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	4,870	109,035			
	概算人件費	994	994			
	トータルコスト	5,864	110,029		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.18 人		994 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			994 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 授業でもっとICTを活用したいか（全国学状調査）（%）	80	小88.6 中76.3	調査中止	85	90
② 週1回以上授業でICTを使用したか（全国学状調査）（%）	80	小28.1 中37.2	調査中止	100	100

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

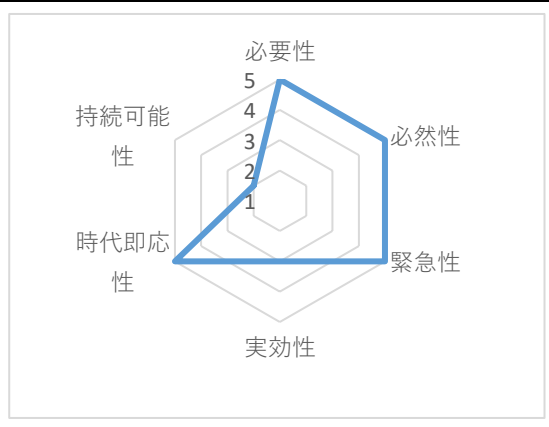
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	□	□	■	□
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者用及び学習者用端末の導入により、新学習指導要領に即した指導が可能となった。</li> <li>G I G Aスクール構想の前倒しによるインフラ整備の先行に対し、教員の早期のスキルアップが必要となったため、負担が増加する。</li> <li>新型コロナウイルス感染症など、不測の事態に備えた遠隔授業への取り組みが必要である。</li> </ul>				



1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	二宮小学校教育振興経費			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●	●		●	
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、児童の教育効果の向上を図る。			
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	02	0001 二宮小学校教育振興経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	2,135	5,740			
	概算人件費	455	455			
	トータルコスト	2,590	6,195		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.09 人		455 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			455 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			



基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	一色小学校教育振興経費			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●	●		●	
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、児童の教育効果の向上を図る。			
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	02	0002 一色小学校教育振興経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	1,267	4,300			
	概算人件費	455	455			
	トータルコスト	1,722	4,755		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.09 人		455 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			455 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	山西小学校教育振興経費			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●	●		●	
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、児童の教育効果の向上を図る。			
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	02	0003 山西小学校教育振興経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	1,684	4,814			
	概算人件費	455	455			
	トータルコスト	2,139	5,269		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.09 人		455 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			455 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	二宮中学校教育振興経費			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●	●		●	
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、生徒の教育効果の向上を図る。			
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	03	02	0001 二宮中学校教育振興経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	2,559	2,895			
	概算人件費	455	455			
	トータルコスト	3,014	3,350		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.09 人		455 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			455 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	二宮西中学校教育振興経費			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●	●		●	
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、生徒の教育効果の向上を図る。			
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	03	02	0002 二宮西中学校教育振興経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	2,216	2,607			
	概算人件費	455	455			
	トータルコスト	2,671	3,062		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.09 人		455 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			455 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 教育内容の向上	4.11	2.88
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	支援教育推進事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	学校	目的	支援を必要とする児童・生徒に対する学習及び生活支援を行い、安心して学校生活を送るための環境整備を図る。			
事業概要	各学校に支援教育補助員を配置し、支援体制の強化を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0007 支援教育推進事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	30	1,710			
	概算人件費	20,217	20,217			
	トータルコスト	20,247	21,927		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.21 人		1,079 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	24 人		19,138 千円		
	合計			20,217 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 支援教育補助員の人数（人）	24	24	24	24	24
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	支援を必要とする児童生徒への対応の充実	4.02	2.96
2	教育相談の充実	3.93	2.95
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・児童生徒の個に応じたきめ細かな学習支援が展開できた。
- ・学校における児童生徒のニーズは年々多様化しており、支援教育補助員の更なる拡充が必要となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	教育相談・教育支援室事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	学校	目的	学業上の悩みについての教育相談及び不登校児童・生徒への支援を通じて、児童生徒の心のケアを図る。			
事業概要	心理士、スクールソーシャルワーカー等による教育相談を行うとともに、不登校児童・生徒への支援を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0001 教育相談・教育支援室事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	261	200			
	概算人件費	6,316	6,316			
	トータルコスト	6,577	6,516		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.29 人		1,651 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	5 人		4,665 千円		
	合計			6,316 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 年間相談件数（件）	1056	1275	1275	1275	1275
② 相談援助職の月あたりの合計稼働日数（県雇用含む）（日）	心理・S C 20 S S W 10	心理・S C 20 S S W 10	心理・S C 20 S S W 14	心理・S C 20 S S W 14	心理・S C 20 S S W 14

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 支援を必要とする児童生徒への対応の充実	4.02	2.96
2 教育相談の充実	3.93	2.95
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等  
 ・児童生徒の個に応じたきめ細かな学習支援が展開できた。  
 ・学校における児童生徒のニーズは年々多様化しており、心理教育相談員やスクールソーシャルワーカーの更なる拡充が必要となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
	意見			



基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	コミュニティ・スクール運営促進事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●			●	●
事業対象	学校・地域	目的	地域とともにある学校づくりの手法のひとつとして、コミュニティ・スクールの運営を促進することで、児童生徒の豊かな成長を支援する。			
事業概要	学校運営協議会の活動に対する支援及び組織体制の強化を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0011 コミュニティ・スクール運営促進事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	2,402	2,959			
	概算人件費	878	878			
	トータルコスト	3,280	3,837		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.18 人		878 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			878 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 各校の学校運営協議会の開催回数（回）	4	3.2	4	4	4
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 地域と連携した教育活動の充実	3.89	3.07
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等

- ・町内すべての小中学校に学校運営協議会が立ち上がり、学校と地域の連携が強化された。
- ・学校運営協議会と地域学校協働活動の関係を整理し、学校のニーズに沿った地域連携を検討していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	二宮小学校施設管理運営経費 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び児童の安全の確保に努める。			
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	01	大事業 0002 二宮小学校施設管理運営経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	2,638		2,363		
	概算人件費	2,822		2,205		
	トータルコスト	5,460		4,568		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.6 人		2,205 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0.5 人		617 千円		
	合計			2,822 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	一色小学校施設管理運営経費 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び児童の安全の確保に努める。			
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	01	大事業 0003 一色小学校施設管理運営経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	1,471	1,499			
	概算人件費	2,071	2,205			
	トータルコスト	3,542	3,704		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.39 人		1,454 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0.5 人		617 千円		
	合計			2,071 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	山西小学校施設管理運営経費 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び児童の安全の確保に努める。			
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	01	0004 山西小学校施設管理運営経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	2,005	1,812			
	概算人件費	2,822	2,205			
	トータルコスト	4,827	4,017		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.6 人		2,205 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0.5 人		617 千円		
	合計			2,822 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	二宮小学校教育施設整備事業 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。			
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	01	0006 二宮小学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	2,540		311		
	概算人件費	2,783		2,166		
	トータルコスト	5,323		2,477		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.59 人		2,166 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0.5 人		617 千円		
	合計			2,783 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。
- ・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	一色小学校教育施設整備事業 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。			
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	01	0007 一色小学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	2,986		198		
	概算人件費	2,031		2,166		
	トータルコスト	5,017		2,364		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.38 人		1,414 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0.5 人		617 千円		
	合計			2,031 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。
- ・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			



基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	山西小学校教育施設整備事業 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。			
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	01	0008 山西小学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	720		135		
	概算人件費	2,783		2,166		
	トータルコスト	3,503		2,301		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.59 人		2,166 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0.5 人		617 千円		
	合計			2,783 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。
- ・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	二宮中学校施設管理運営経費 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び生徒の安全の確保に努める。			
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	03	01	大事業 0002 二宮中学校施設管理運営経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	2,488	2,210			
	概算人件費	3,091	2,205			
	トータルコスト	5,579	4,415		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員		0.6 人		2,205 千円	
	再任用職員		0 人		0 千円	
	会計年度任用職員		0 人		0 千円	
	その他		0.5 人		886 千円	
	合計				3,091 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	二宮西中学校施設管理運営経費 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び生徒の安全の確保に努める。			
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	03	01	大事業 0003 二宮西中学校施設管理運営経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	2,278	2,068			
	概算人件費	2,763	2,931			
	トータルコスト	5,041	4,999		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.39 人		1,877 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0.5 人		886 千円		
	合計			2,763 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←	→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	二宮中学校教育施設整備事業 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。			
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	03	01	大事業 0005 二宮中学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	1,763	258			
	概算人件費	3,052	2,166			
	トータルコスト	4,815	2,424		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.59 人		2,166 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0.5 人		886 千円		
	合計			3,052 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。
- ・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	二宮西中学校教育施設整備事業 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。			
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	03	01	0006 二宮西中学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	390	75			
	概算人件費	2,723	2,891			
	トータルコスト	3,113	2,966		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.38 人		1,837 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0.5 人		886 千円		
	合計			2,723 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。
- ・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	学校給食施設管理運営経費 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	●
事業対象	学校	目的	学校給食を適切に管理運営し、児童生徒に安心安全でおいしい給食を提供する。			
事業概要	施設の管理を通して、学校給食業務の環境の充実を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	05	03	0001 学校給食施設管理運営経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	68,615	74,608			
	概算人件費	16,330	1,163			
	トータルコスト	84,945	75,771		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	1.85 人		8,510 千円		/
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	15 人		7,820 千円		
	合計			16,330 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 米飯の残食率（小学校）（%）	18.0	9.7	10.0	9.0	8.0
② 米飯の残食率（中学校）（%）	19.6	14.1	15.0	14.0	13.0

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- 調理、配送、配膳を外部委託したことにより、より安定的な給食の提供に繋がった。
- 施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			